



新春を迎えて

謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

旧年中は、市町村アカデミーの業務運営につきまして特段のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、熊本地震や鳥取地震をはじめ、阿蘇山の噴火、台風10号による北海道・東北地方の水害など全国各地で災害が多発し、甚大な被害をもたらしました。災害に遭われた地域の日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、市町村をとりまく環境は、人口減少と少子・高齢化の急速な進展、国家の枠を超えた経済・文化のグローバル化に伴う人・物・情報の流れの変化やICTの普及など、大きく変化し、地域社会の課題や在り様は多様化してきています。

一方で、我が国の内政の主体が市町村となり、地域の実態を踏まえて、自らの判断において地域の諸問題に取り組む責任が課せられる等、市町村の果たす責任と役割はますます大きく、知恵と工夫が必要とされる時代になってきました。

このような時代の中で、市町村は、地方税財源の充実確保に努めながら、災害に強い地域づくり、医療・福祉の充実強化、地域経済の活性化など山積する諸課題に対応するために、今まで以上に的確な分析力と長期的・将来的な政策立案能力、諸課題に対する意欲的な取組み、挑戦が求められています。

当アカデミーは、このような市町村行政における変化に対応できる人材の育成を目指し、様々な視点から工夫や改善を行いながら、宿泊を伴う研修という研修形態を活かし、専門性の高い知識・スキルや最先端の政策情報を提供し、さらには、全国レベルのネットワークの形成を図りつつ、今後とも、市町村に信頼され、市町村のお役にたてる市町村共同の中央研修機関として、市町村の皆様の期待に応えるべく全力をあげて取り組んでまいります。

平成29年度におきましては、引き続き、市町村長・市町村議会議員・監査委員を対象とした特別セミナー、管理職を対象とした多様化する地域課題に対応した専門研修のさらなる充実を図るとともに、人口規模別による研修や少人数によるゼミナール方式による研修を引き続き実施することといたしております。

どうぞ本年も、皆様の一層のご活用とご協力を、よろしく願いいたします。

皆様のますますのご活躍と地域の発展を、心からお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

市町村職員中央研修所

学長 林 省吾